

## 医療法人社団 誠仁会を受診された患者さまへ

当会では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

施設名	みはま病院
研究課題名 (研究番号)	前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術の安全性および有用性の検討 (26-008)
当会の研究責任者 (所属)	門野洋大 (みはま病院 泌尿器科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	ありません
本研究の目的	ロボット支援前立腺全摘除術 (robot-assisted radical prostatectomy : RARP) は、前立腺癌に対する標準治療の一つとして広く普及している手術です。従来の開腹手術と比較して低侵襲であり、出血量の減少や術後回復の早さなどの利点が報告されています。 当院では2025年5月にda Vinci Xiを導入し、前立腺癌に対するRARPを開始しました。本研究では、当院におけるRARPの周術期成績、安全性および治療成績について検討することを目的としています。
調査データ 該当期間	2025年5月1日～2026年4月30日
研究の方法 (使用する試料等)	診療録を用いて、2025年5月1日から2026年4月30日までに当院でロボット支援前立腺全摘除術を施行した前立腺癌患者さん50例を対象として調査を行います。調査項目は、年齢、身長、体重、BMI、既往歴、腹部手術歴、術前PSA値、前立腺体積、前立腺生検病理結果 (Gleason score、陽性コア数)、MRI所見、手術アプローチ、神経温存の有無、リンパ節郭清の有無、手術時間、コンソール時間、出血量、輸血の有無、摘出標本重量、病理学的病期 (pT stage)、前立腺外進展 (EPE)、切除断端 (RM)、精嚢浸潤 (SV)、リンパ管侵襲 (ly)、静脈侵襲 (v)、神経周囲浸潤 (pn)、腫瘍径、歩行開始日、飲水開始日、食事開始日、ドレーン抜去日、尿道カテーテル抜去日、術後在院日数、周術期合併症、晩期合併症、尿禁制回復、再発の有無、追加治療内容などです。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	研究で得られた情報は患者さん個人を特定できないよう匿名化したうえで管理します。研究結果を学会発表や論文などで公表する場合も、個人が特定されることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	特に資金は必要ありません。利益相反はありません。
お問い合わせ先	なお、本研究への情報利用を希望されない場合は、下記までご連絡ください。 拒否されたことによって診療上の不利益を受けることはありません。 誠仁会 みはま病院 泌尿器科 研究責任者：門野洋大 電話：043-271-2200
備考	